

ブルースジャムセッション参加のミュージシャンの皆様へ

日頃からブルースジャムセッションに足しげく通っていただき有難うございます。レストランジャムが1989年に7月に開店してすぐに始まったこのイベントも今年で足掛け27年間続いたことになります。

当初はブルースジャムセッション自体珍しく、ましてジャムのセッションはキーとリズムとテンポを出して全て即興でセッションするという緊張感あふれるセッションだったので千葉市はもちろん県内各地の腕自慢がやってきて火花を散らすという魅力的なイベントでした。噂を聞きつけ都内はもちろん茨城、埼玉、神奈川からも猛者達が腕試しに現れ、その様子を見にたくさんのミュージシャンや音楽ファンが訪れました。2000年代に入ると各地にセッションを開催する店舗が開店し、そこらじゅうでセッションが行われセッションカレンダーなるものまで発行されるムーブメントにまで発展しました。

一時の盛況は去ったものの、ブルースを愛し、セッションを楽しみに色々なお店に出没するミュージシャンは絶えることはないようです。

逆にレストランジャムのセッションは2000年以降、インプロビゼーションの程を失い、参加者がそれぞれの持ち歌を披露するセッションに変貌しました。

当然、スリリングなセッションを期待するミュージシャンやファンの足は遠のき、ほとんど伴奏者と化すリズムセクションのミュージシャンは初心者やレベルの低い人が占めるようになり、心ある数人のベーシストやドラマーによってかろうじて、レベルが維持されているという状況に陥りました。

見学者が減り参加者の飲食も売り上げが上がらなくなり、苦肉の策で参加費をいただくシステムにしましたが、1000円の参加費が免罪符のように4、5時間お店で過ごし飲食代が1000円前後というお客様増えてしまい完全に悪循環に陥ってしまいました。お店の代名詞のような『ジャムセッション』を意地になって続けてまいりましたが、これだけ他にセッションできる環境があるので、ブルースセッションを3月いっぱいまで休止させていただきますことをご報告いたします。

お店をかけがえのない場所として大切にしてくださった皆さん本当にすみません。

イベントとしてブルースバンドのライブやセッションを企画して頂けばブッキングいたしますのでぜひご利用ください。

2016年2月27日